

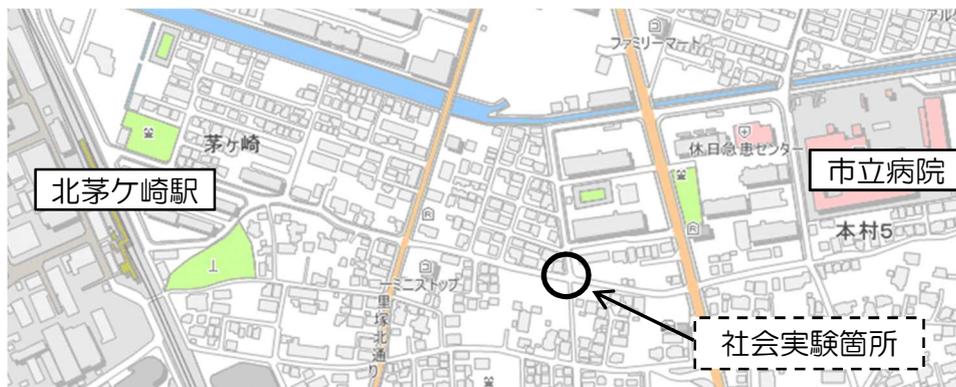
交差点にセンサーライトを設置し、自転車事故減少へ 自転車走行空間整備社会実験を実施

市は、交差点にセンサーライトを設置することで、自転車利用者などへ注意喚起を行い、自転車事故を減らすための社会実験を、1月6日（月）～24日（金）（予定）に実施します。

これは、本市が他市に比べて自転車を利用する割合が高く、市内での全人身交通事故の中で自転車に関係する事故の割合が高いという実情があり、また、自転車事故のうち約7割が交差点で発生していることから実施するものです。

市は、「人と環境にやさしい 自転車のまち 茅ヶ崎」を将来都市像として掲げた「第2次ちがさき自転車プラン」に基づき、「人・自転車を優先したまちづくり」を推進しており、本事業はこれに基づき、実施します。

- 1 実施期間 令和2年1月6日（月）～1月24日（金）（予定）
※社会実験の実施状況および天候その他の理由により実施期間が変更となる場合があります。
※効果計測のためにビデオカメラを活用したモニタリングやアンケート調査を実施する予定です。
- 2 場 所



- 3 設置物
人感センサーライト



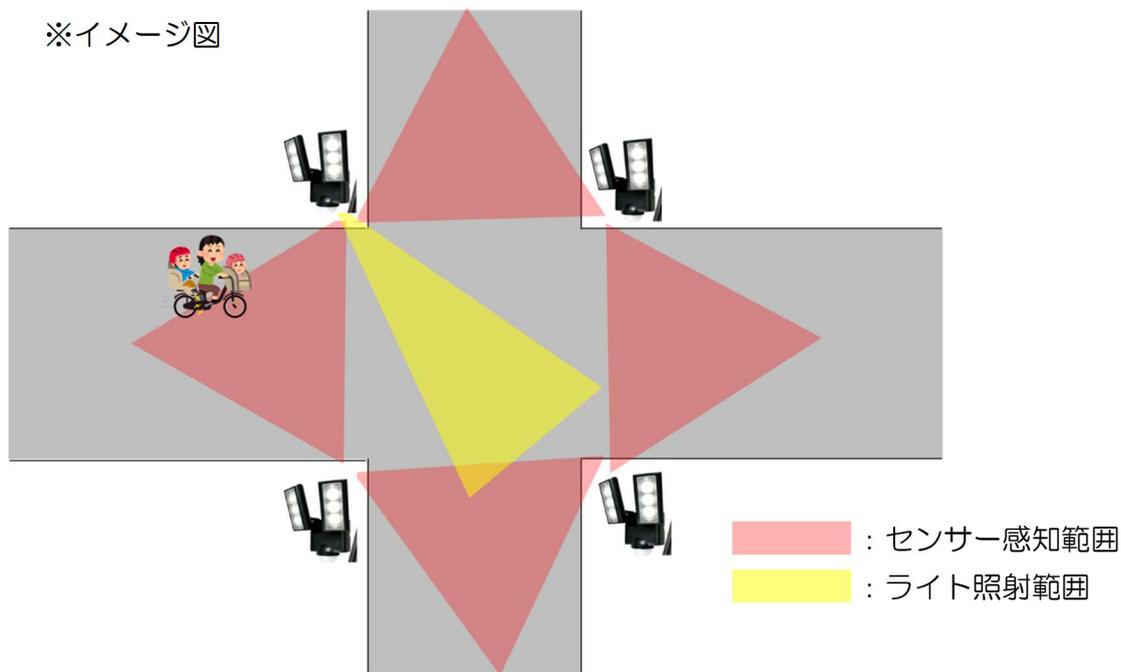
□：センサーライト

4 対策イメージ

交差点の出会い頭の事故が多いことから、交差点進入前の自転車や自動車等を感知し、別方向から進入してきている自転車や自動車などに対して進入者がいることを伝え、かつ進入者自らに対しても、交差点での注意を促し、自転車に関連する事故減少を目指します。

また、センサーの感知範囲やライトの照射方法について、複数パターン実施する予定です。

※イメージ図



5 参考（過去5年間の市内の自転車事故の発生箇所）

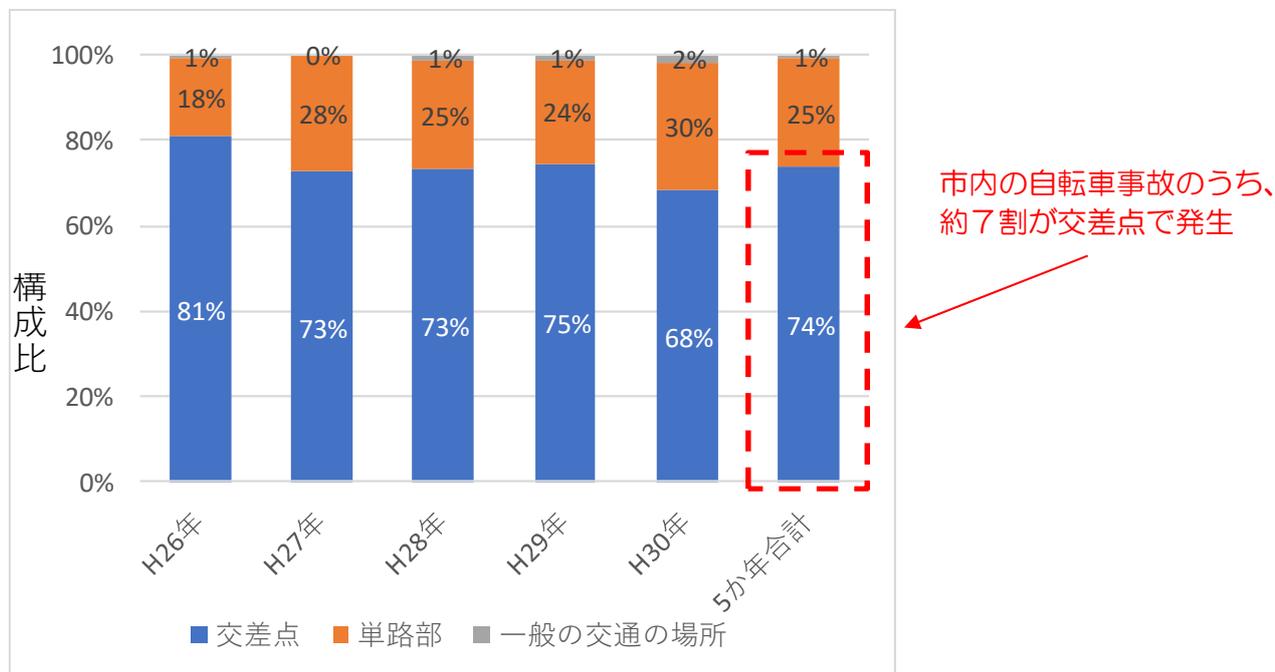


図 自転車関連事故の発生場所